

愛知県 在宅医療連携拠点推進事業 成果報告会  
 平成27年3月12日（木） 12時半～18時10分  
 ウィルあいち4階 ウィルホール

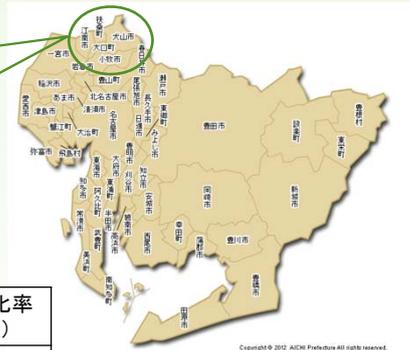
## 尾北医師会 在宅医療連携拠点推進事業の 成果報告

尾北医師会在宅医療連携拠点推進室

MAIL : bihoku-zaitaku@wish.ocn.ne.jp  
 URL : <http://bihoku.aichi.med.or.jp/category/zaitaku>  
 TEL : 0587-95-7027 FAX : 0587-95-7028  
 住所 : 〒480-0144 丹羽郡大口町下小口6丁目1 2 2 - 2



### 尾北医師会の管内地域の特徴 (江南市・犬山市・大口町・扶桑町)



市町	総人口 (人)	65歳以上 人口(人)	高齢化率 (%)
江南市	101,235	25,132	24.8
犬山市	74,881	19,574	26.1
大口町	22,485	4,805	21.4
扶桑町	34,346	8,477	24.7

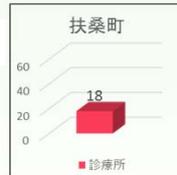
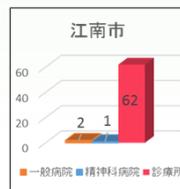
平成26年3月31日現在

## 在宅医療連携拠点推進事業実施の背景

### ①尾北医師会管内の医療資源の特徴

- 地域の中に異なる機能の医療機関が点在しているが、距離的に連携しやすい。
- 市町により医療資源が異なるが、広域で切れ目のない医療・介護支援が提供できる。

市町別の  
尾北医師会管内の医療機関数



### ②行政との共同事務局体制

- 広域で一度に事業を進めることは環境的、条件的に難しかったため、江南市をモデル地域として事業を実施し、他市町に広めていく。
- 共同事務局体制で江南市と情報共有し、次年度以降自治体が主体となって事業を発展させてほしい。

# 1. 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討

江南市の医療・介護の多職種専門職が毎月1回集まり、  
事業の進捗状況に関する意見交換や課題の共有化を行う

在宅医療支援ネットワーク会議



作業チームで事業を検討

在宅医療モデル事例検討会議

レスパイトサービス検討会議

医療と介護の知恵袋改定等検討会議

在宅医療の勉強会作業チーム

在宅医療支援ネットワーク会議・作業チームの構成メンバー

- ・尾北医師会（会長・理事3名・在宅医）
- ・尾北歯科医師会（副会長・江南地区長）
- ・尾北薬剤師会（会長）
- ・訪問看護師（江南市内・3か所）
- ・医療ソーシャルワーカー、認定訪問看護師（江南市内・2病院）
- ・地域包括支援センター（江南市内・3か所）
- ・江南ケアマネくらぶ（代表・役員）
- ・江南市 健康づくり課・高齢者生きがい課
- ・江南保健所
- ・尾北看護専門学校
- ・尾北医師会在宅医療連携拠点推進室



## 在宅医療連携拠点推進事業の組織体制

在宅医療支援ネットワーク会議

在宅医療モデル事例検討会議 作業チーム

構成メンバー：訪問看護師、ケアマネジャー  
地域包括支援センター、江南市

開催回数：全8回

実施した事業

- ・在宅医療推進フェスティバル企画・運営
- ・ケアマネジャーのための在宅医療・介護連携事例集
- ・住民向け在宅医療啓発チラシ・パンフレット

レスパイトサービス検討会議 作業チーム

構成メンバー：医療ソーシャルワーカー  
(尾北医師会管内4病院)

開催回数：全7回

実施した事業

- ・在宅医療の現状と今後の展望に関する研修会
- ・レスパイトサービスに関するニーズ調査

医療と介護の知恵袋等検討会議 作業チーム

構成メンバー：地域包括支援センター、ケアマネジャー、江南市

開催回数：全8回

実施した事業

- ・多職種合同研修会・交流会企画・運営
- ・医療機関名簿（診療所）、医療と介護の連携ガイドブック

在宅医療の勉強会 作業チーム

構成メンバー：医療ソーシャルワーカー、認定訪問看護師  
地域包括支援センター

開催回数：全4回

実施した事業

- ・在宅医療の勉強会 企画・運営



## 4. 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み（2市2町）

後方支援病床の確保と家族の負担軽減について尾北地域の現状を踏まえて把握

### 医療の現状と今後の展望に関する研修会

参加者：60名

第1部 「在宅医療の現状と今後の展望」

第2部 「病院の機能分化と役割」



### レスパイトサービスに関するニーズ調査

- ・対象：地域包括支援センター、  
居宅介護支援事業所 52か所
- ・回答：39事業所（回答率75%）

医療依存度の高い方の在宅生活をするうえで必要だと思うこと

- ・医療行為に対応できる施設等が必要  
点滴・たん吸引、胃ろう、導尿  
麻薬  
インスリン注射  
酸素  
人工呼吸器
- ・がん、精神疾患を持つ者に対応できる施設等が必要

医療依存度の高い方への支援について検討する会議を継続

## 5. 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動

### 家族介護講座

全3回 延 参加者143名



### 情報発信

- ・広報こうなん
- ・尾北ホームニュース（7回掲載）

### 在宅医療推進フェスティバル

参加者427名

- 第1部 講演  
「あなたは人生の最後をどこで過ごしたいですか」
- 第2部 3家族の体験談  
「家で介護をするということ  
～つながっている安心感を語る～」



今後の啓蒙のあり方を検討

- ・在宅医療の良い面も伝えることが重要



## 6. 潜在看護師復帰支援事業

### 尾北地域の看護人材育成の発掘と在宅医療に関わる人材の充足

#### 尾北看護専門学校卒業生へのアンケート調査

「地域看護人材育成と潜在看護師復帰支援等」にむけたアンケート調査

調査対象者：467名 回収：177名  
(回収率 37.9%)

在宅医療への関心・地域看護人材育成に向けたニーズの把握

看護師復帰希望者への支援に向けたニーズの把握

研修会の実施・潜在看護師復帰支援方法の検討

## 在宅医療連携拠点推進事業の振り返り

### 在宅医療支援ネットワーク会議メンバー

- ・ 業務の依頼、日常の相談などのネットワークが新たに生まれた
- ・ 所属組織や職能団体にフィードバックすることができた
- ・ 事業計画があったため、参加委員の意見をもとに多職種連携の課題を抽出し、解決策を検討するには至らなかった

### 在宅医療モデル事例検討会議 作業チーム

- ・ 事例を振り返る機会になった
- ・ 在宅医療推進フェスティバルで、訪問看護を住民に周知することができた
- ・ 具体的な連携のノウハウの共有には至っていないため、事例集を用いた研修を実施できるとよい

### レスパイトサービス検討会議 作業チーム

- ・ 尾北医師会管内の医療機関のMSWと1つのテーマに集中して取り組むことができた
- ・ 複数の医療機関が一緒に何かを行うには、医師会の取りまとめがあって実現できた
- ・ 医療依存度の高い方への支援について継続的に考える機会が必要

### 医療と介護の知恵袋等検討会議 作業チーム

- ・ グループワークの議題について、現場の課題を踏まえて検討することができた。
- ・ 参加者に、「多職種との連携が必要だ」という認識が生まれた
- ・ 医療系専門職の参加を促すには、職能団体への働きかけが重要

### 在宅医療の勉強会 作業チーム

- ・ 在宅医療をテーマにした勉強会で、基礎知識を学ぶことができた
- ・ 平日の20時開始という遅い時間帯であったが出席者が多く、学習意欲の高さがうかがえた
- ・ 他職種の業務を理解し、グループで事例を基に学べる形式に発展させていけるとよい

## 地域包括ケアシステムの構築に向けて

### 尾北医師会管内市町

- ・江南市では在宅医療・介護連携について検討する会議を継承して実施
- ・犬山市では多職種連携会議を継続して実施
- ・扶桑町、大口町では在宅医療・介護連携に向けた動きが始まっている
- ・江南市が中心になり、江南市・犬山市・岩倉市・扶桑町・大口町で「地域包括ケアシステム推進委員会（仮称）」を発足し、広域の課題について検討する場を持つ
- ・地域包括支援センターと協働し、住民への在宅医療の普及啓発に取り組む

### 尾北医師会

連携

- ・在宅医療の勉強会を、医療機関ソーシャルワーカー、認定訪問看護師、広域の地域包括支援センターと企画・運営
- ・事例集を用いて、チーム医療に関する研修会を実施
- ・医療依存度の高い方の在宅療養支援について検討を継続
- ・地域包括支援センター、ケアマネジャー等からの在宅医療に関する問い合わせに対応
- ・訪問看護ステーションの連絡会を組織化
- ・潜在看護師の復帰支援、地域看護人材養成について検討